



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株) 電子印刷センター

1等陸佐 小林直基 着任

第三十代第四十一普通科連隊長 兼 第三十三代別府駐屯地司令



連隊は、令和5年3月13日(月)に第30代第41普通科連隊長兼第33代別府駐屯地司令 1等陸佐 小林直基を迎え、着任行事を実施した。副連隊長以下の隊員が整列する中、第4師団長 陸将 塚本浩貴から紹介を受けた。その後、着任式では隊員に対し連隊長として統率方針「任務完遂」を、要望事項として「即応態勢の確立」と「融和団結」の2点を始め、駐屯地司令として「地域とともに」を掲げ「輝かしい歴史と伝統ある第41普通科連隊及び別府駐屯地において部隊を統率できることを光榮に思うとともにその重責を自覚した次第である。活気に満ち溢れた諸官らを前に連隊長及び駐屯地司令として連隊及び駐屯地の「任務完遂」のため、的確な指揮・統御及び適切な管理に尽力する決意を新たに示した。歴代の連隊長・駐屯地司令等の方々が築き上げられた伝統と歴史の上に、任務完遂に向けて全身全霊をもって部隊統率し、常に諸官らの先頭に立ち、進んで難局に当たることがここに誓う」と着任の辞を述べた。



地点指示



隊内巡視



初登庁

連隊は令和5年3月10日(金)に第29代第41普通科連隊長兼第32代別府駐屯地司令 中村英昭 1等陸佐の離任式を実施した。在任期間中、駐屯地司令として「駐屯地一丸」「地域との一体化」を、連隊長として統率方針に「任務完遂」を、要望事項に「責任を果たせ」を掲げて駐屯地の発展、部隊の精進に尽力した。

新型コロナウイルス感染症の影響の中であったが「別府大分毎日マラソン大会」や「別府八湯温泉まつり」等の様々な部外行事に積極的に参加・協力し部隊と国民の交流を深め自衛隊への理解促進や信頼感の獲得に貢献した。また部隊においては戦闘戦術訓練を重視し、小部隊訓練や機関銃集合教育等を実施し部隊の練度向上に努めた。令和5年3月7日(水)には長野別府市長よりツーリズム別府大使を委託された。

大分県出身であった中村英昭 1等陸佐は約3年間の勤務を終え北海道の北千歳駐屯地教育訓練研究本部 訓練評価支援隊にご栄転となった。



見送り



ツーリズム別府大使就任



離任式

中村1佐にご栄転

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

令和4年度 小隊戦闘射撃競技会

連隊は令和5年2月15日(水)及び16日(木)に小隊戦闘射撃競技会を実施した。本競技会は小隊の戦闘射撃能力の向上は当然ながら、各級指揮官の射撃指揮能力の向上も目的として行われた。

小隊長による命令下達が行われた後に状況が開始され、各隊員は障害物等に身を隠しながら監視を行い、的が現出されると速やかな射撃を行った。絶え間ない射撃と前進を繰り返し、目標地点に到達し突撃して状況は終了した。

様々な状況が繰り広げられる中、各小隊は丸となり対応力をもって任務を完了し、その中でも的への命中率の高かった第2中隊が優勝を勝ち取った。



交戦

敵の監視を有を行い、敵の監視を続ける隊員と捜索・撃破を行う隊員で相互連携し先制的な火力を発揮して重要防護施設の破壊を阻止し状況は終了した。



敵情監視

小部隊対抗訓練

連隊は令和5年2月20日(月)から22日(水)までの間、小部隊対抗訓練を行なった。本訓練は重要防護施設防護における第一線防護小隊の行動及びゲリラ・コマンドウの捜索・撃滅を演練し、小隊長及び分隊長の状況判断能力及び小部隊の近接戦闘能力の向上を図ることを目的として行なった。隊員は、敵を発見すると部隊内での情報共有を行い、敵の監視を続ける隊員と捜索・撃破を行う隊員で相互連携し先制的な火力を発揮して重要防護施設の破壊を阻止し状況は終了した。



分隊前進



優勝旗授与



一斉射撃

令和4年度 総合戦闘射撃

連隊は令和5年3月16日(木)及び17日(金)に日出生台演習場において令和4年度総合戦闘射撃を行った。

本訓練は各級指揮官の射撃指揮、諸職種部隊間の火力調整、機動と射撃の連携を演練し、諸職種部隊の総合された火力発揮能力の向上を目的として行われた。また重迫撃砲中隊の実射訓練検閲も兼ねており、教育訓練の成果を評価・判定し、その進歩向上を促すことも目的とされた。訓練は無線をを用いて緻密に連携を図り、特科・砲迫の攻撃準備射撃から始まり、小銃小隊は第一線陣地における攻撃を、対戦車小隊は対機甲戦闘を一連の状況下で行った。特に重迫撃砲中隊の分隊は轟音とともに砲弾が発射されると、次弾装填まで正確迅速に照準する隊員の動作には無駄がなく、精練されていた。

本訓練を通じ、練成の成果を遺憾なく発揮し任務を完了した。引き続き連隊は更なる練度向上に努めていく。



120mm重迫撃砲



小銃小隊戦闘射撃



87式対戦車誘導弾

第71回別府大分毎日マラソン大会支援

連隊は令和5年2月5日(土)に第71回別府大分毎日マラソン大会を隊員115名、車両27台で支援を行った。

大会当日はスタート地点であるうみたまご大分マリンパレス水族館でボランティア団体及び学生達と連携を図りながら昨年の参加人数をはるかに上回る約4,000名分の荷物を自衛隊車両に積載し、大分市営陸上競技場へ輸送を行った。また、スタートでは第41普通科連隊音楽部が激励演奏を行い選手や観客を盛り上げていた。

この他にも選手のスペシャルドリンク輸送や大会役員の方を乗せ監察業務支援も行った。連隊は大会の円滑な運営に寄与するとともに、自衛隊に対する理解や信頼を深めることが出来た。



選手荷物輸送



監察業務支援



選手激励演奏

離着任 部隊長紹介

本部管理中隊長

着任 中隊長



1等陸尉 目代武靖

離任 中隊長



1等陸尉 椎屋誠

3月定期異動者紹介

転出者

第41普通科連隊から

本部管理中隊長(10名)

1等陸尉 椎屋 誠 (富士学校総務部)

2等陸尉 前田 克之 (第43普通科連隊)

2等陸尉 福島 義裕 (第35普通科連隊)

2等陸尉 日野 和彰 (第7普通科連隊)

2等陸尉 林田宗一郎 (第35普通科連隊)

陸士長 平原 富士 (自衛隊福岡病院)

陸士長 佐伯 大成 (西部方面警務隊)

陸士長 河村 流生 (第15旅団司令部付隊)

1等陸士 岩元 令旺 (第15旅団司令部付隊)

第1中隊(4名)

3等陸曹 古野 諒人 (第2水陸機動連隊)

3等陸曹 鶴田 昂志 (第15旅団司令部付隊)

陸士長 儀間 拓海 (第15旅団司令部付隊)

第2中隊(4名)

3等陸曹 栄村 豪 (自衛隊大分地方協力本部)

3等陸曹 松下 将人 (訓練評価支援隊)

陸士長 松尾 貴心 (宮古島)

陸士長 中村 友哉 (第15旅団司令部付隊)

第4中隊(2名)

3等陸曹 望月 健児 (第39普通科連隊)

陸士長 坂本重輝斗 (第15旅団司令部付隊)

1等陸曹 西村 健 (普通科教導連隊)

3等陸曹 芝田 一心 (第50普通科連隊)

別府駐屯地業務隊から

1等陸尉 松田 基 (第19普通科連隊)

2等陸尉 赤峯 雄紀 (自衛隊那覇病院)

第134地区警務隊 別府派遣隊から

3等陸尉 碓 和也 (福岡)

第128地区警務隊板妻派遣隊

第404会計隊から

2等陸尉 河島 勝喜 (第404会計隊)

3等陸曹 吉高 友貴 (第444会計隊)

3等陸曹 米村 大輔 (西部方面隊総監部付隊)

第304基地通信中隊 別府派遣隊から

1等陸曹 中村 裕子 (湯布院)

3等陸曹 平塚 達也 (湯布院)

大分地域支援センターから

2等陸佐 望月 英生 (小平学校)

転入者

第41普通科連隊へ

本部管理中隊長(4名)

1等陸尉 目代 武靖 (富士教導団本部付隊)

3等陸尉 黒田誠一郎 (第4偵察大隊)

2等陸尉 中島 敬三 (第1空挺団3普大習志野)

2等陸尉 井野上貴浩 (水陸機動団偵察中隊)

第3中隊(1名)

陸曹長 大迫 武弘 (対馬警備隊)

第4中隊(5名)

1等陸尉 久保祐太郎 (宮古島)

2等陸尉 小島 孝信 (第17普通科連隊)

2等陸尉 新名 拓己 (訓練評価支援隊)

3等陸曹 吉田 大志 (第32普通科連隊)

重迫撃砲中隊(3名)

陸曹長 河村 賢一 (第1ヘリコプター1野整備隊)

3等陸曹 西 大地 (普通科教導連隊)

3等陸曹 大川 祐平 (第7普通科連隊)

別府駐屯地業務隊へ

1等陸尉 平岡 稔 (第15情報隊)

3等陸尉 宮村 辰巳 (水陸機動団特科大隊)

第4後方支援連隊第2整備大隊

3等陸曹 山口 傑 (第15高射特科連隊)

3等陸曹 松井 智史 (衛生学校)

第3普通科直接支援中隊へ

3等陸尉 大友 悠太 (第4後方支援連隊)

3等陸尉 梶島 翔太 (第4後方支援連隊)

1等陸曹 池辺 大介 (偵察戦闘直接支援中隊)

2等陸曹 井村 忠道 (大分地方協力本部)

第404会計隊へ

2等陸尉 小野 誠 (第404会計隊)

第134地区警務隊 別府派遣隊へ

1等陸曹 下川 和利 (第444会計隊)

3等陸尉 松田 誠 (第444会計隊)

第304基地通信中隊 別府派遣隊へ

1等陸曹 悠哉 悠哉 (第303保安中隊)

3等陸曹 佐渡 明秀 (湯布院)

3等陸曹 村居 美穂 (湯布院)

3等陸曹 幸 伸太郎 (湯布院)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

3等陸曹 幸 伸太郎 (湯布院)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

3等陸曹 花木 総元 (大分)

別府駐屯地業務隊

物品管理・補給整備検査受検

業務隊は、令和5年2月28日(火)から3月2日(木)にかけて令和4年度物品管理検査及び補給整備検査を受検しました。

物品管理検査とは、物品管理に係る物品とその帳簿に間違いがないか、保管要領受払出要領等に不備はないかについて検査を受けるもので、補給整備検査とは、補給等に関する業務の有効性及び能率性(物品の整備状況はどうか、その整備要領は適切か)について検査を受けるものです。

業務隊は、駐屯地内外の様々な物品を管理・保有しており、検査対象物品等は業務隊だけでなく、駐屯地各部(中)隊及び大分分屯地各部隊にまで広範多岐におよびます。今回、準備から検査受検まで各部隊のご協力を得ながら整齊円滑に受検を終えることができました。

今回の検査結果を踏まえ更にサービス向上するよう、引き続き各部隊等のニーズに応じた補給支援業務に努めていきます。



所見受け



倉庫点検

大分地方協力本部 大分地域援護センター

令和4年度 防衛大臣予備自功労感謝状伝達式

大分地域援護センターは令和5年2月6日(月)「西日本道路サービス九州株式会社大分支店」に対し令和4年度防衛大臣予備自功労感謝状伝達式を支援しました。

同社支店長「富満郁夫」氏に日頃のOB採用実績及び予備自衛官への深いご理解、防衛基盤の育成への多大な功績に対する感謝の意をお伝えしました。以前にも増して募集難に直面している現在、予備戦力たる予備自衛官の確保は益々その重要性が増しています。近年国内の大規模災害の際我々現職の後方においての支援活動は表立って記事になることは余りありませんが、緑の下の力持ちとして確実に我々を支援して頂いています。今後退職を迎える方々においても国防は我々一人一人が担っていることを深く認識し是非、予備自衛官として退職後も国防の一端を担って頂けるようお願い致します。



表彰



記念撮影

第404会計隊

訓練始め

会計隊は、1月11日(水)に訓練始めで火男火売(ほのおほのめ)神社まで、持続走訓練を実施しました。天候も良く絶好の訓練日和で爽快に走る事が出来ました。

今年一年、全隊員及び隊員家族の健康と飛躍、そして、事故なく過ごせるように祈願しました。

また、昨年は、西部方面会計隊持続走競技会で優勝の成績だったことから、今年は、優勝出来るように心を一つにしました。帰隊時も隊員一丸となり走って駐屯地営門をくぐって帰路に着きました。



記念撮影

第3普通科直接支援中隊

第2回大隊回収訓練

第3普通科直接支援中隊は3月2日(木)から5日の間に、第2整備大隊が実施した第2回大隊回収訓練に参加しました。



リヤウインチ操作要領の教育風景

今訓練は、回収訓練に必要な知識及び技能の向上を図ることを目的として実施したものであり、訓練内容は、3名1組で走行不能となった車両を重レッカのリヤウインチ及びブームを使用して、回収を行うという内容でした。回収は、知識・技能だけでなく、隊員同士の連携が非常に大切であり、今訓練に参加した隊員は、知識・技能及び指揮能力の向上だけでなく、連携の重要性について学ぶことができました。

第3普通科直接支援中隊は引き続き任務達成のために更なる練度向上を目指します。



リヤウインチによる回収風景

第134地区警務隊 別府派遣隊

陸上幕僚長の身辺警護

警務隊は、令和5年2月7日(火)から8日(水)日出生台演習場で実施された令和4年度北海道トレーニングセンター訓練視察に伴う陸上幕僚長の身辺警護を実施した。前日の空港から宿泊施設、翌日は宿泊施設から視察場所、演習場から空港まで身辺警護、車列警護及び先着警護要員を配置して対象者の円滑な視察に寄与した。

また、令和5年2月2日(木)から16日(木)の間、犯罪収益移転防止法違反等の相次ぐ発生に鑑み臨時防犯活動を実施した。重視事項として、犯罪収益移転防止法違反の防止と闇バイトの防止を掲げ、各部隊等に対して防犯資料の配布、防犯助言を行い防犯意識の高揚に努めた。今後、も部隊の協力を得て実施していきたい。



要人警護の状況



防犯助言の状況

第304基地通信中隊 別府派遣隊

令和4年度 識能向上訓練

第304基地通信中隊は、令和4年度識能向上訓練を2月6日(月)から2月9日(木)までの間、湯布院駐屯地で実施した。

この間、別府、湯布院、玖珠及び大分通信所の全隊員が湯布院通信所において中隊(福岡)の、有線、搬送、システムの教官要員から、基本基礎及び最新のシステム通信技術を学び、各人の識能向上に努めた。日々多様化するシステム通信技術を学ぶことで、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に対応できる隊員の育成に取組み、各人の識能を向上させることができた。



訓練の全般説明



新機材の説明

今後、隊の団結を強化し、学んだことを隊務運営に生かし、あらゆる任務に邁進していきます。

1~3月

定年退官者紹介

- 【1月2日付】 別府駐屯地業務隊 陸曹長 向井 治
- 【1月12日付】 第41普通科連隊 重迫撃砲中隊 陸曹長 山本 則三
- 【1月17日付】 第41普通科連隊 第1中隊 准陸尉 大力 教生
- 【1月25日付】 別府駐屯地業務隊 准陸尉 森本 宏
- 【1月28日付】 別府駐屯地業務隊 准陸尉 渡部 裕二
- 【2月16日付】 第41普通科連隊 第2中隊 陸曹長 柳原 和雄
- 【3月2日付】 別府駐屯地業務隊 3等陸尉 金森 文雄
- 【3月8日付】 第41普通科連隊 第1中隊 陸曹長 本村 拓二
- 【3月20日付】 第41普通科連隊 第2中隊 陸曹長 辻中 克郎
- 【3月31日付】 第41普通科連隊 重迫撃砲中隊 陸曹長 足達 実生

永年にわたる勤務おつかれさまでした

